

本市への功績者に対する 顕彰が大切では

問 市制施行100周年記念事業の一つとして、例えば、榮久庵憲司さまなど本市発展のためにご尽力、ご支援等いただいた方々の功績を顕彰することが大切と思うが、考えは。

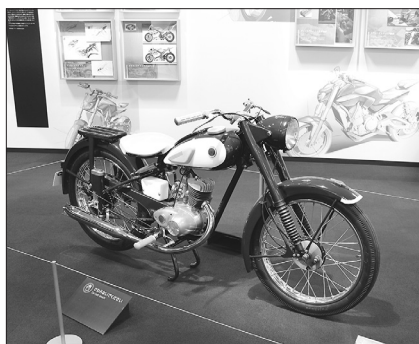
答 功績者への顕彰については表彰条例等に基づき、100周年にふさわしい功労者や善行者を選し、その方々のご労苦にしっかりと報いてまいりたいと考えている。

合併建設計画の変更内容は

問 合併建設計画の変更で177億円の活用可能額が示された。積算根拠と、新たに追加する事業は。

答 合併特例債の全体枠は572億円で、合併後のまちづくりのために必要な財源措置として、最終の神辺町との合併時点で旧4町を含む福山市を一体のものとして国が示した標準的な事業費から算定したもの。そのうち4町それぞれの合併協議会で積み上げられた

る。なお、榮久庵憲司さまについては、市立大学の校章のデザインや鞆のまちづくりに対するご尽力など、本市への功績は多大であり郷土の誇りである。記念式典での顕彰も含め、その功績にふさわしい顕彰の在り方をさまざまな角度から検討している。



榮久庵憲司さんがデザインしたバイク「YA-1」とキッコマン卓上しょうゆ瓶(ものづくり交流館展示)

395億円との差が177億円で全市的な課題解決に向けて活用を図るものである。

このたび新たに、総合体育館等整備事業、学校施設整備事業、就学前施設整備事業の3事業を追加する。

上下水道事業の経営安定化への取り組みは

問 上下水道の施設の老朽化が進み、今後は更新などに多くの投資が必要となるが、経営安定化への取り組みは。

答 これまで職員の定員管理や給与の適正化をはじめ、組織統合や、さまざまな業務の包括的民間委託などに取り組み、より効率的効果的な事業運営に努めている。今後の経営展望については、不安定な景気動向などから水需要が

減少傾向にあり、今後の人口減少等の要因も加わり、収益の伸びが見込めないものと予測している。一方、上下水道施設の老朽化対策にあわせ、耐震化対策を進める必要がある。

今後の経営に当たっては、市民の皆さまの意見を聴き、経営に反映する必要があることから、平成27年度、福山市上下水道事業経営審議会を設置したいと考えている。持続可能な経営基盤を確立する中で、経営の健全化に努める。

公明党



宮地 徹二

平成27年度一般会計予算について

問 ①平成27年度予算の特徴は。

②投資的経費の基本的考え方は。

答 ①大変厳しい財政環境下ながら、当初予算額は前年度比2%増の1679億6700万円と、

人口減少社会の到来も見据えながら、連携中枢都市圏構想や市制施行100周年記念事業等に対応した。とりわけ、未来を担う人づくりを進める視点から、小中一貫教育の推進や校舎の耐震化など教育費に意を用い、未来志向の積極型予算を編成することができた。

②都市基盤整備や合併建設計画の着実な実施など158億円と、前年度比38億円の増とした。投資的経費は、都市の活力や産業の活性化等の観点などから不可欠であり財政の健全性に配慮しながら、可能な限り事業量を確保していく。

※榮久庵憲司：昭和4年生まれ。昭和22年福山誠之館中学校(現広島県立福山誠之館高等学校)卒業。国際的な工業デザイナーで代表的な作品はキッコマン卓上しょうゆ瓶、福山市立大学校章など。勲四等旭日小綬章受章。イタリアのコンパッソ・ドーロ賞国際功労賞受賞。平成27年2月死去。